

取扱いの趣旨

免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製は、ヘリコバクター・ピロリ除菌前の感染診断検査に該当していないことから、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【病理診断】

《平成19年3月16日》

36 免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製①（ヘリコバクター・ピロリ）

○ 取扱い

原則として、病理組織標本作製のみを施行している場合、ヘリコバクター・ピロリの除菌判定のための免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製8のその他（1臓器につき）は認められない。

○ 取扱いを定めた理由

「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて（平成12年10月31日保険発第180号）」に即していない。

○ 留意事項

除菌後は菌数が減るため検出しにくいこと、また雑菌が増えることがあり、その鑑別に免疫染色が必要である場合があること。

2020年4月～2021年3月審査分 (%)

[illegible]

Change, Challenge, Chance  社会保険診療報酬支払基金
Health Insurance Claims Review & Reimbursement Services